

# 市内初のA型事業所

## 「ウイズユー」始動に期待

就労継続支援A型事業所「株式会社ウイズユー」(小林俊介社長、市内田塚1)が9月1日から事業を開始することになった。これまで障がい者就労に力を入れてきた新潟アパタイトが、同社柏崎田塚工場を別法人として独立、事業開始に向けて準備を進めてきたもので、7月10日にA型事業所として市内初の法人設立を行った。

A型事業所は、これまでのB型と違い、「最低賃金が保障される」「事業者と雇用契約を締結する」点で障がい者に有利で、継続的な雇用が確保されるところにも、通常の事業所に移行するためのステップとしても活用出来るのが大きな特徴だ。

定員は20人。製造部品の検査、組み立て、梱包を行う計画で、「長年におたつて培ってきた製造業のノウハウと、障がい特性を生かす工夫を併せることで、障がいを持った方もその力を余すことなく社会の中で存分に発揮してもらい、柏崎市だけでなく、新潟県の障がい者雇用率の上昇を目指していきたい」と(小林社長)とのことだ。

会田市長は同社の設立について8月定例会見で「極めて大きな意義のあることだと思う、継続した就労機会が得られると

いうこととともに、ステップアップのチャンスにもなるのではないかと期待している」と激励した。問い合わせは同社(41-6006)へ。

## 書家金澤さんが記念講演

赤い羽根ミーツィング 第6回赤い羽根パトナミーツィングかしわざきが25日午後1時から市産業文化会館で開催される。

社会福祉法人柏崎市社会福祉協議会と柏崎市共同募金委員会主催。記念講演の講師は書家の金澤泰子さんと、演題は「ダウン症の娘と共に生きて」。金澤さんの娘の金澤翔子さんはダウン症を抱えながら書道家として活躍中。「子育てに悩む親はもとより障がい児を抱える親など、より多くの人々に聞いてほしい」とのことだ。

入場無料。入場券が必要で、希望者は市総合福祉センター、高柳町・結の里、西山支所にて配布中。

## 検定合格向け 集中勉強も

マイスターカレッジ 柏崎技術開発振興協会

費用1チーム2万円、一般交際ギアクラス(同)、鉄人クラス(単独の男女、参加費5000円)。1チームは2人から10人で編成する。タイム計測は発信器(MYLAPスタグ)をママチャリに取り付け自動計測を行う。各クラスとも6位まで表彰、その他特別賞多数。申し込みは9月4日までインターネット(<http://Eanna-chari.jp/>)。問い合わせは大沼プランニング内実行委員会事務局(022-381-7021)へ。新潟県など

## ママチャリで8時間耐久

10月4日に日本海間瀬サーキット(新潟市西蒲区)で開催される第2回げんきMAZEママチャリ8時間耐久レースの参加チームを募集している。無改造のママチャリ(一般市販のホームサイクル、シティサイクル)を使用し、1周2キロのコースを8時間耐久で競う。参加資格は中学生以上の心身ともに健康な老若男女で、開催クラスは一般シングルギアクラス

では、9月2日から始まるマイスターカレッジ10期生の募集を行っている。科目は機械工学コース(32回、64時間)と検定受験コース(43回、86時間、NC旋盤専攻、NCフライス盤専攻、マシンニングセンタ専攻、機械系保全専攻、その他)。

対象は市内、近郊事業所の推薦する若手技能者及び検定受験希望者、定員は各コース15人程度。受講料は機械工学コースが2万6000円、検定受験コースが3万円。

マイスターカレッジは、団塊の世代の大量退職時代に向け、柏崎技術開発振興協会が新たな人材の育成とレベル向上を図るため開講しており、工科大学教員や柏工教員、熟練技能士などが講師を務める。申し込みは28日まででものづくり活性化センター内の同協会事務局(32-2042)へ。

## 一中特設広場で夏フェスタ

中央地区コミュニティ振興協議会主催のサマーフェスタが22日午後3時から一中生徒玄関前特設広場で開催される。例年はコミセンを会場に開催しているが、耐震工事のため、会場を移

しての開催。

ステージパフォーマンス第1部(午後4時から小中学生の部)には柏崎小6年と一中1年のよさこい、一中吹奏楽部、一中応援パフォーマンスが出演、第2部(6時から納涼の夕べの部)にはオランダスマイル、ハラウ・フラ・オ・リハウ柏崎が出演。

上条宵まつり 奈々さん登場 「上条夏の宵まつり」が22日午後5時45分から上条コミュニティセンターで開催される。同実行委員会(霜田昭委員長)の主催による夏まつりで、みんなでつる「流しうめん」、盆踊り、柏崎出身の奈々さんスペシャルステージ、お楽しみ発表会、抽選会など。また、屋台広場で、鮎の塩焼き、イカのゲン焼き、焼き鳥、カレー、寿司、焼きそば、飲料、アイスなどを販売する。浴衣、甚平での来場者には特典あり。多くの来



## 柏新歌壇

編集部選

生きるもの皆強く見ゆる夏がいい空も暑さも極み輝く 千葉市 森 幸恵 (評)夏と暑さを肯定的に詠むのは、猛暑続きの中では、なかなか難しい。生命の躍動感と共に表現する力量はさすがベテラン。  
夏一日(ひとひ)夜明け日暮れに鯛が無理をするなど元気をもらふ 柏崎市 安達 誠 (評)立秋を過ぎ、少しは涼しさが出て来た。暑さによる疲れも心配である。カナカナの新涼感のなか、それらを描いた。  
年々に戦時の事実知る人の減少するに話すも聞くも今 柏崎市 西須 セイ  
あの日から七十年の時がすぎ平和への願いよよ強まる 柏崎市 罫 栄子  
ほの赤き蜜袋の釣り鐘を鳴らすごとく蜂渡りゆく 出雲崎町 島宗 宗子  
西瓜植えずでに六ヶ採り食べて今は小振りか転がりおりぬ 柏崎市 米山 光俊  
柏商と紀夫の部分が共通点矢口氏のためしばし黙禱

場を呼びかけ中だ。

## 鯖石川ダムで「カヌー祭」

県立こども自然王国では23日午前9時半から鯖石川ダムで「カヌーまつり」を行うことになり、参加者を募集している。対象は小学生4年生以上で、料金は小学生3500円、中学生以上4000円(昼食、入浴券込)。濡れてもいい服装、クツまたはサンダル(ビーチサンダル不可)、着替を用意して参加する。小雨決行、荒天時は中止する。申し込みは自然王国(41-3355)へ。

## 新潟工科大学で学科体験

オープンキャンパス 22日開催される新潟工科大学の「オープンキャンパス」への参加を呼びかけている。内容は大学紹介、キャンパス見学、研究室見学、学科体験、学食ランチ無料体験、相談コーナーなど。

学び体験では、「交通シミュレーションソフトで渋滞予測」「ロボットカーの仕組みとプログラムの基礎を学ぶ」「身近な福祉

## 海の俳句大会 盛況に終わる

柏崎俳句作家連盟(上野昭一理事長)主催の第60回記念海の柏崎俳句大会が7月8日、市産業文化会館で開催された。兼題の部には県内外から225人、1034句の応募があり盛況、当日は97人が参加した。開会式で上野理事長が「諸先輩方の熱意で立ち上がったこの大会が、記念すべき60回大会を迎えた。これまでのご支援に感謝します」とあいさつ。「松の花」主宰・ホトトギス同人会会長の安原葉さんが「子規と虚碧は、虚子を中心に」と題して記念講演(別項)を行った。10位までの兼題入賞作品は次の通り。 ①あづま屋のどこも正